

2011年3月1日

開講機関：一般社団法人日本リスクマネージャネットワーク(JRMN)

日本リスクマネージャネットワーク(JRMN)

代表理事 宮崎隆介

## 1. 教育活動の趣旨

日本リスクマネージャネットワーク(JRMN)は、大阪大学「環境リスク管理のための人材養成」プログラムの所定の単位を修了し、日本リスク研究学会(SRAJ)に「リスクマネージャ」として認定、登録された者のうち社会人特別受講生出身者の有志によって「社会の要請に応じてリスクマネジメントの普及に取り組み、リスク事象に関する調査研究を行うとともにリスクマネージャとしての資質を磨き、社会の安全、安心の向上に資することを目的」(定款第3条)として設立した組織である。(現在会員数42名)

具体的な活動として会員自身の資質向上のための取り組み(リスクマネージャとしての継続教育(CPD))を基礎に、市民、学生を対象にリスクというものの見方、考え方(リスクセンス、リスクリテラシー)を普及することおよび企業、会社員を対象にしたリスクマネジメントの研修やコンサルタントなどの支援事業を両輪として行うことを目指している。

2009年度の知の市場の講座(東京開催)に当会の会員が参加したことをきっかけに、当会でも大阪で知の市場の活動を「リスクマネジメントの普及」という会の目的に沿うものとしてアウトリーチ活動の位置づけで取り組むこととした。

JRMNの会員自身が講師となる講座とともに、東京で開催されていた大阪在住講師によるリスクマネジメントに関連する講座もあわせて開講し、大阪での社会人向けのリスクマネジメントに関するアウトリーチ活動の発展を目指している。

## 2. 2010年度開講実績(応募者属性、小レポート、アンケート等の解析結果)

2010年度は新規開講機関として前期(4月6日～7月20日、火曜日)に、昨年まで東京で開催されていた「化学物質総合評価1」を大阪での開講という形で開始し、後期にはJRMN自身の開講科目として10月5日～2月1日、火曜日に「環境基礎論」を、また東京開催予定であった「防疫薬総合管理」(9月27日～1月24日、月曜日)を諸般の事情で急遽大阪で開講することとなった。

### (1) 応募者・受講者の状況

科目名	応募者	受講者	平均出席率
化学物質総合評価1(jk111)	14	14	79.1%
防疫薬総合管理(jk131b)	16	15	87.5%
環境基礎論(jk454)	11	11	94.2%

(2011年1月18日現在)

## (2) 成績評価

科目名	受講者	修了者数	修了率
化学物質総合評価1(jk111)	14	9	64.3%
防疫薬総合管理(jk131b)	15	—	—
環境基礎論(jk454)	11	—	—

(2011年1月18日現在)

## 3. 2011年度開講内容

2011年度も2010年度に引き続き、前期(4月5日～7月19日、火曜日)に「化学物質総合評価1」を、後期に10月3日～1月23日、月曜日で「防疫薬総合管理」を、10月4日～1月24日、火曜日で「環境基礎論」を開講する。

JRMN自身の担当した「環境基礎論」については準備期間がなく、走りながら考えたところがあり、2010年度の実績を踏まえて2011年度のテキストの充実を図る。

## 4. その他、抱負や課題など

前期講座受講者のアンケートで講座の大阪での開講がもっとほしいという希望が出されており、2011年度から導入される共通受講システムの機能の発揮次第で事務局の事務処理負荷が大幅に削減されれば、科目数の拡大の可能性が出てくるので、来年度以降JRMNの活動の一つの柱として大いに期待したい。

ただ、現在使用している会場が2012年度以降使用できるかどうか不透明であり、2011年度中の新しい会場の確保が大きな課題である。

また、JRMN担当の講座(環境基礎論)については初めての経験でもあり、「基礎」レベルとし、環境問題に関心のある初心者を対象と考えていたが、実際の応募者は、環境ポータルサイトや知の市場HPでの募集掲載を通じて初心者とはいえない環境問題に関心の深い方や講師レベルの方の応募があり、講師としても共に考える立場で講義に臨み、良い刺激を受けた。この経験から、一つは初心者の方の受講を図るという応募の上での工夫と同時に、講座のレベルアップ(初級から中級へ)も今後の課題としたい。